

# ボトックス外来 ボツリヌス療法のご案内

## ボツリヌス療法とは？



ボツリヌス菌（食中毒の原因菌）が作り出す天然のたんぱく質（ボツリヌストキシン）を有効成分とする薬を筋肉内に注射する治療法です。ボツリヌストキシンには、筋肉を緊張させている神経の働きを抑える作用があります。そのためボツリヌストキシンを注射すると、筋肉の緊張をやわらげることができるのです。ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。

### この治療法は

世界 80 カ国以上で認められ、広く使用されています。（2010 年 10 月現在）

日本では、手足（上肢・下肢）の痙縮、眼瞼けいれん（瞼が下がってきてしまう病気）、片側顔面けいれん（顔の筋肉が収縮する病気）、痙性斜頸（首が斜めに曲がってしまう病気）、小児脳性まひ患者の下肢痙縮に伴う尖足（つま先が伸び、かかとが床につかない状態）に対して認可され、これまでに 9 万人以上の方がこの治療法を受けています。

※痙縮とは…脳卒中などでよくみられる運動（機能）障害の一つです。筋肉が緊張しすぎて、手足が動きにくかったり、勝手に動いてしまう状態のことです。

## ボツリヌス療法の効果

ボツリヌス療法によって次のような効果が期待できます

手足の筋肉がやわらかくなり、動かしやすくなることで、日常生活動作（ADL）が行いやすくなります。



リハビリテーションが行いやすくなります。

関節が固まって動きにくくなったり、変形するのを防ぎます。（拘縮予防）



痛みをやわらげる効果が期待できます。

介護の負担が軽くなります。



当院では、外来・通所・訪問によるリハビリテーションを提供しております

## 治療スケジュール例

### ① 治療目標設定 投与日予約

痙縮によって困っていることなどを医師と相談し、治療の目的を決め投与日の予約をします。

### ② 投与

初回投与を行います。

経過観察

### ③ 受診（1～2回） 次回投与日予約

医師と症状を相談しながら、次回投与日を予約します。

経過観察

### ④ 投与

2 回目投与を行います。2 回目投与以降は 3～4 を繰り返します。

※次の投与までの期間には個人差があります。

3～4 カ月※

## ボツリヌス療法の治療費について

当院で行う痙縮等の治療は保険が適応されます。通常 1 割～3 割負担で治療が受けられます。注射を行う部位や、範囲により費用が異なりますのでご了承ください。

## 重度障害者医療証（身体障害者手帳 1 級・2 級）等をお持ちの方

該当する医療証などをお持ちの方は、ご負担が減額となる場合がございます。詳しくは当院窓口または各役所へご相談ください。

ボトックス外来

予約制

毎週火曜日午後



IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明山会

山形ロイヤル病院

【ご予約・お問い合わせはこちら】

0237-43-8080